

館報 城山

発行所 長野市立城山公民館
電話 232-3111
編集 小池英樹
発行人
印刷所 法令印刷

公民館区世帯数
(6・8・1)
第1地区…2,769
第2地区…5,477
合計…8,246世帯

多様な学びの場「市民講座」 講座参加者の感想

城山公民館では、例年学びの機会の充実に向け多数の市民講座を企画運営しています。企画にあたっては、日頃から市民の皆様の希望をお聴きし、適切な講師をお願いして開講しています。今回は、最近の市民講座に参加された方々の感想を紹介します。ぜひ、城山の市民講座にご参加を！

「季節の寄せ植え」講座 に参加して

以前から、寄せ植えやフラワーアレンジメントに興味があったので、回覧チラシを見て「これだ」と思い申し込みました。
講座は、楽しくできましたが、何より花の名前や育て方、植えた後の手入れなど、知ら



寄せ植えのコツを学ぶ受講生

ないことが学べてよかったです。講師の先生から、「種をとって来年も育ててみましょう」と言われ、来年も楽しめればすばらしいと思いました。
自分の作った寄せ植えを家に持ち帰り眺めてみると、思いがけず、植え方がきれいにできたと感じました。7種類の植物のバランスもよくとれていて満足でした。
素晴らしい講座に参加できてよかったです。



親子でこねつけを焼く

「キッチンいくじ」講座 感想

高崎 英里佳

「キッチンいくじ」には以前から興味があり、今回は実際に親子で料理をしながら学ぶことができる講座だったので、幼稚園年中の息子と参加しました。息子は、始めは少し緊張した面持ちでしたが、次第に自分で料理を作っていく過程を楽しんでいる様子で、完成後は「美味しい！」と完食し、後日家で「また作らないの？」と聞かれました。何か特別な機会を設けなくても、生活の中で毎日行う料理を通して、子どもと「でき

た！」という成功体験を手軽に共有できることを知れたのは、新たな発見でした。講座をきっかけに、今後子どもと一緒にキッチンに立つ楽しさを重ねていきたいです。

「宮下健司氏と巡る…善光寺門前歴史散歩」講座感想

第一地区 女性

住んでいる地域の歴史を知ることが楽しいことです。ことに、創建以来約1400年の歴史がある善光寺について知ることは、尽きない興味がわきます。

今回、歴史家の宮下健司先生の「善光寺門前歴史散歩」講座に参加させていただき、とても有意義なお話をうかがうことができました。

現在の仁王門は、明治24年（1891）の火災で焼失後、山形村出身の永田兵太郎翁の寄進により、大正7年（1918）に再建されたものであることや、永田翁の顕彰碑が再建100年を記念して建てられたことをうかがい、再度しっかりと見てこようと思いました。先生は、現地に行つて調べることの大切さを、資料を使って語ってくださいました。（当日は雨天のため、講演会として実施）

新任職員着任のごあいさつ



7月よりお世話になります。成人学校

発祥の館として長い歴史をもち、加えて市民講座やサークル等も活発に行われる城山公民館に勤務できますことを、大変光栄に感じております。皆様が実りある時間を過ごせるよう、元氣と誠意をもって尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今後の市民講座 お申込みを お待ちしております

水引編み

～きはんとあそび～
9月13日(金)・20日(金)
9:30～11:30
13日 基本の編み方
20日 応用編 作品作り
両日参加が申込み条件

講師: 小林英美さん
材料費: 各回500円
持ち物: ラジオ
ペンチ・筆記具

タカの渡り
観察会
令和6年9月18日(水)
9:30～11:30
■会場 飯綱高原
スパイラル
※現地集合、現地解散
■集合場所 スパイラル駐車場
■講師 藤田伸二さん
(日本野鳥の会 長野支部長)
■参加費 無料

特別寄稿
最終回

裾花川と長野市街地

その
10

く横山城の発掘調査でわかったことく

戸隠地質化石博物館

田辺 智隆

今回は最近の発掘調査でわかった成果も踏まえ、城山丘陵の生い立ちをふりかえりたいと思います。

令和4年（2022）、城山公民館の北側、NHK長野放送局の跡地で再整備に関わる工事が始まりました。その際に地下の様子が観察できるのではないかと期待をしていました。しかし、忙しさにまぎれ、現場での観察をする前に工事が終了してしまいました。残念！ と思っていました。残念！

この写真は戦国時代の横山城があった場所ですので、発掘調査や記録がとられているかもしれない、と長野市埋蔵文化財センターに問い合わせてみました。すると、工事の時の記録写真が残されていることがわかり、その写真に城山丘陵の生い立ちをさぐる鍵が残っていました。

深くまで掘り下げた場所では、砂や粘土の地層が確認されました。これは館報199



掘った部分でみえた豊野層

画像提供：長野市埋蔵文化財センター

号で紹介した「豊野層」です。

この城山丘陵が湖の底だったことを示しています。その上には川が運んだ礫層や風化した火山灰層（ローム層）などが重なっているのが確認できました。その上にはさらに大きな石ころが載っています。この石ころは、横山城を築いた際に人が積んだものと思われる。

こうした地層の積み重なりは、建築物を建てる前のボーリング調査で確認されていたものとはほぼ同じです。しかし、直径10 cmもないボーリングコアだけではわからない、

詳しい地層の様子がわかりました。豊野層が多数の断層でズタズタに切れている記録写真があり、左右に引つ張られてできた正断層群のように見受けられます。

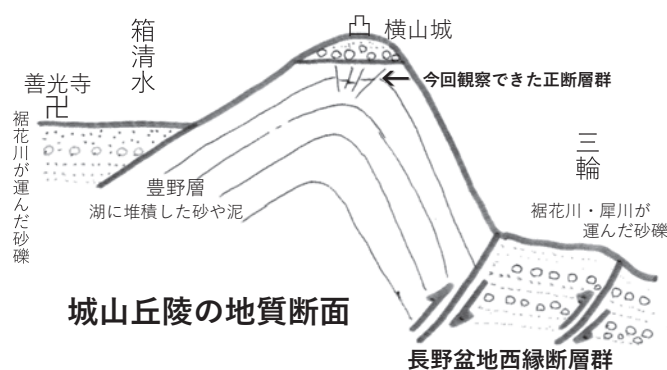
城山丘陵のすぐ東側には、この丘陵をつくった動きの激しい長野盆地西縁断層があります。この断層の動きによって善光寺側が隆起し、盆地側が沈みこむ逆断層がありまゝです。今回観察された正断層群は城山丘陵が長野盆地西縁断層で隆起した際に、地層が折れ曲がり、丘陵の背面に生じたものではないでしょうか。



豊野層中に見られた正断層群

令和6年(2024)の元日、能登半島でマグニチュード7.6の大地震があり、能登半島の西側では4mもの隆起が確認されています。この地震の影響で、長野市でも北東方

向に約5 cm移動し、1 cmほど隆起したことが人工衛星からの観測で確認されています。大地は動かないものと思いがちですが、長い時間の中では、大地は常に動いていると考えたほうがよさそうです。裾花川流域、特に城山周辺はそうした大地の動きが見える場所なのです。



城山丘陵の地質断面

令和4年7月から続けてきたこの連載「樫花川と長野市街地」も今回で終了します。この間、自分たちの暮らす大地や水のことに関心をもっていたできれば幸いです。ありがとうございました。

連載終了によせて

「館報城山」編集委員

山口 美緒

編集委員になる前から「館報城山」が投函されるのを心待ちにしていました。なんと、いっても田辺智隆先生の連載が楽しみだったのです。

地域の成り立ちを地中から地上から様々に解説してくださる原稿に、地図や身近な風景を頭に呼び起こしたものです。現代から過去にわたる出来事が全部あわさって風景として立ち上がってくる感覚に、知的好奇心の昂ぶりを感ぜました。ときには断層や川の流れなどから地域に潜む危険も示唆してくださり、身の引き締まる思いもしたものです。

162号（平成26年12月1日発行）からはじまった「足もとから知るわが町の成り立ち」から、「城山公園地下の不思議」「裾花川と長野市街地」とテーマを変えながら9年間、本報にご寄稿くださった田辺先生ですが、今号でいったん連載の筆を擱かれま

す。寂寥を覚えずにいられますが、編集委員として、そして一愛読者として、長きにわたる連載に、ここに感謝申し上げます。



城山公園一帯の変貌を機に、これまでの城山の歴史をたどり、長く記憶にとどめておきたいと考えこのシリーズを重ねてきました。

今回は、戦後城山の高台でキリスト教の教えに則り女子教育を始め今日に至る、長野清泉女学院高等学校についてふれたいと思います。

昭和9年(1934)11月、ローマを出発した聖心侍女修道会のシスターたちは、長旅を終え横浜に到着しました。彼女たちは、「恵まれない子どもたちへの教育」活動に携わりたいと、望んで日本にきたのでした。しかし、当時の日本は軍部が台頭し、大戦争に至る道を突き進んでいる時期で、外国人の修道女である彼女たちには大きな苦難が待ち構えていました。

昭和10年2月、東京に聖心侍女修道会の修道院がはじめて設立され、4月には清泉の学校の種となる清泉寮が開設されて学校教育が始まりました。しかし、軍国主義の高ま

りにより、宗教について話すことは禁じられました。

そして、昭和19年(1944)には、とうとう清泉寮が閉鎖され、まもなく、東京在住の外国人に東京から別の場所への疎開勧告が出されました。

これにより、シスターたちは東京を離れ、長野県松本市の小さな家に疎開先を決め移り住むことになりました。しかし、ここに長く住むことはできず、やがて野沢温泉に移ることにになりました。この頃になると、長く続いた苦労や極度の食糧不足による栄養失調のために、シスターたちにはほとんど体力が残っていませんでした。

長野清泉女学院高等学校

昭和20年(1945)8月15日、日本は終戦を迎えましたが、東京の修道院が全焼したため、シスターたちが帰るところはありませんでした。これを知ったGHQ(連合国軍最高司令官総司令部)が、善光寺北の千鳥ヶ池の家を見つけてくれました。

長野市に移り住んだシスターたちは、次第に健康を回復していききました。そして、地域の子どもたちを対象に日曜学校を始め、昭和21年にはシ

スターエルネステイナを校長として清泉寮学院が設置されました。また、宗教についての話もできるようになりました。

しかし、千鳥ヶ池の家は、やはり学校には不向きな建物であったため、城山の丘にあった旧陸軍司令部の建物に学校を移すことになりました。こうして、本格的な長野清泉の教育が始まったのでした。そして、昭和24年(1949)、長野清泉寮学院は、長野清泉女学院高等学校となり、現在に至っています。



長野清泉女学院中学・高等学校（現在）

遠い異国の子どもたちのため、幾多の苦難を乗り越えてでも学校を創り教育を行いたいというシスターたちの強い願いが、ここ城山の地で実を結びました。しかも、善光寺さんお膝元のこの地で。なかなか不思議な縁を感じずにはいられません。

(小池)

地域公民館便り

往生地公民館長 吉田健太郎



往生地地区は、善光寺西側の高台にある、およそ315世帯の町です。特徴としては、町内に商店がないこと、住所表記に大字長野往生地・大字西長野往生地・西長野の3つがあること、中学校は西部中学の通学区ですが、小学校は城山小学校と加茂小学校に分かれていることなどがあります。

公民館は、長野市内でも屈指の桜の名所、往生地公園内にあり、春には多くの方が訪れます。公民館活動は、町役員と各部(住和会・婦人部・育成部)との協働によって運営されています。主な行事としては、交通安全教室とともに往生地地蔵尊祀り、敬老の集い、湯福神社の秋季大祭への参加(子ども神輿、フラダンスサークルによるダンス披露等)、区民運動会、どんど焼きなどを実施しています。幸いなことに、小中学生も多くおり、子どもを中心においた活動を心がけています。

今年度は、交通安全教室と地蔵尊祀りを行いました。信州大学教育学部横の若松町交差点を北上し、横沢町交差点を左折してわずかに登った右手にお地蔵さんが安置されています。このお地蔵さんは、まだ、道路が整備されていなかった昭和23年に、この場所で町民を乗せたトラックが横転転落し、1名の死者と数名のけが人を出した事故を慰霊して建立されました。しかし、長い年月が経ち、故人の慰霊から一歩前進し町民全体の交通安全を図る行事へと位置付け、一昨年からはお祀りの前に交通安全教室を開催することとして実施しています。



地蔵尊祀り

折々日記

育まれる共感力と未来と

山口 美緒

小学生から高校生くらいの子どもたちと話していると、彼らが人間の多様性について、ごく自然に受け止めていることに驚かされます。たとえば同性同士が愛し合うこと、制服選択の自由、人種の違いなど、及ぶ話題はさまざまです。もちろん、わたしも多様性を否定するわけではなく、理解したいと思っています。しかし、その思考回路自体が、子どもたちと違っていると感

じます。彼らは理解するとう思考回路を経ずに、ありのままを受け止めていると、私には映るのです。

『デジタルネイティブ』という言葉がありますが、多様性についても幼い頃からそれにまつわる議論や教育に触れることで、デフォルトになりつつあるのかもしれない。一方で、世の中に飛び交うニュースを見ればいじめが根絶する様子はなく、子どもの自殺も増える一方とのこと。身近な場所において肌で感じる共感力の向上と、遠くのことから起きていて悲しい出来

事。その乖離に鬱屈とした思いを抱えながらも、それでも肌で感じる共感力の向上は、まぶしいものがあります。

昨日の常識が今日の非常識ということが多いあるこの頃、これから先の未来も、次々と新しい価値観が生まれてくることは想像に難くありません。自分はもちろん、今は豊かな共感力を発揮する子どもたちも、さらに柔らかな感性と確かな判断力で世の中と向き合う必要がある。多様性にまつわるさまざまな議論が交わされる昨今、自戒しながら思考する日々です。

令和6年度 城山公民館の主な事業

- 4月・成人学校開校 全26講座
- ・公民館企画の市民講座開始（年間約40講座の予定）
- ・図書室の図書貸し出し開始
- 5月・ひよこくらぶ（未就園児親子対象講座）スタート
- ・あひるくらぶ（小学生親子対象講座）スタート
- 6月・地域歴史散歩講座「善光寺門前」第二地区と共催
- 7月・公民館報発行（7月・9月・12月・3月の4回）
- ・「防災巾着作り講座」実施
- 8月・令和6年度城山公民館成人式実行委員会 発足
- 9月・フレイル予防講座「大人リトミック」予定
- 10月・多世代間交流イベント ハロウィン開催予定
- ・地域の学び講座 第一地区と共催予定
- 1月・成人祝賀式 善光寺事務局講堂
- 2月・令和6年度 成人学校作品展・学習発表会開催予定
- ・城山公民館 使用団体説明会
- 3月・城山公民館運営審議会 開催予定
- ・通年・公民館管理事業

令和6年度成人式について

令和6年度「城山公民館成人式」は、令和7年（2025）1月12日（日）に、善光寺事務局講堂にて開催予定です。対象者は、平成16年4月2日から平成17年（2005）4月1日までに生まれた方で、第一・第二地区に居住、または実家がある方のうち、事前に参加申し込みをした方です。

なお、地元を離れ他地区にお住まいの成人には、ご家族からお知らせいただき、城山公民館にご相談をお願いいたします。詳細は、今後の地区回覧や公民館ホームページ等をご覧ください。

☎026-232-3111

あちこちスナッ

善光寺 親鸞上人お花松



善光寺本堂、賓頭盧尊者像脇の華瓶に生けられた親鸞松。

今回は、城山公民館敷地内の若木、実生の松が供えられた。



13世紀初頭、親鸞上人が善光寺に参詣され、この地に百日間逗留されたと伝えられている。

そして、上人は山の若木の松を仏前に供えられたという。以後、善光寺では28日ごとに松を供えることが法例となり、今日まで続いている。

編集後記

毎年4月から多数の市民が参加して開講される今年度の成人学校26講座も、すでに半年が経過し、様々な講座が市民の新たな知識や技能を学ぶ貴重な場となっています。

さらに市民講座の開催も興味深いテーマで年間を通して予定されています。当館の講座事業が皆様の生涯学習への意欲を後押しして、実践への契機となれば有難いです。

秋に向けても極暑が続く、新型コロナウイルス感染症も収まらない中、皆さまのご自愛をお願いします。（山口し）

新刊図書のご案内

能面検事の死闘
夜果つところ
夜明けの花園
博士はオカルトを信じない
台所の相談室
不思議な時計
クリームイエローの海と春キャベツのある家
ぼくのおうちわたしのうち
石原洋子のおうち中華
10ぴきのおばけサーカスへいく
いえいえ、そんなことはありませんよ
アイスクリーム&シャーベット
クスノキの女神

中山 七里
恩田 陸
恩田 陸
東川 篤哉
飛田 和緒
北村 薫
せやま 南天
たけうち ちひろ
石原 洋子
にしかわ おさむ
シゲタ サヤカ
坂田 阿希子
東野 圭吾

